

戦後沖縄の生活と食の変遷

～アメリカ世による変化と大和世による変化～



戦後沖縄の生活は、米軍統治の影響と経済成長で大きく変わっていきました。また 1972 年の日本復帰後も少しずつ変化しています。その変化を食生活の変化も一緒に見ながら考えていきます。

8/27 土

14:00~16:00



西原町の オキコ や かねひで などについても、話の中で触れていきます。



◆◆ 講師 ◆◆
みやま よしこ
宮城 能彦
(沖縄大学教授)

1960年(S 35)那覇市生まれ浦添育ち。那覇高校、琉球大学卒業。沖縄女子短期大学を経て現在沖縄大学教授。専攻は社会学、地域社会学。主な著書『奥むらと戦世の記録』『共同売店—ふるさとを守る知恵—』『ぼくたちの1972年—少年と家族の日本復帰—』(ペンネーム山原昭)



西原村農業協同組合売店 (1963年) 字与那城にあった頃 沖縄県立公文書館所蔵

【募集期間】 8/1月 ~ 8/24水

【定員】 50名 (定員に達し次第締切)

【申込】 電話にて受付、必ずお申し込みください。TEL 098-944-4998

【会場】 西原町立図書館 集会室 (2F)

参加無料

※ 参加の際は、コロナ感染対策にご協力をお願いします。

